



東京都済生会中央病院附属乳児院 平成 30 年度 第 3 号 2019.1.31.発行



東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 山中 一郎

明けましておめでとうございます。東京は天候に恵まれた穏やかなお正月を迎えましたが、皆様はいかがでしたでしょうか。子どもたちも元気に初詣に行ってきました。

11 月には、済生会中央病院血液内科医長の塚田唯子先生から「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」とのお話をいただき、外来棟 1 階ホスピタルストリートで音楽会を開きました。塚田先生の音楽大学時代のご友人でピアニストの川井綾子さんとトロンボーン奏者の堂本雅樹さんが子どもたちと一緒に演奏したり、川井さんが弾くピアノを興味津々で覗き込んだりして楽しい時間を過ごしました。子どもたちにとって、とても良い思い出になったと思います。

さて、今年は私たちにとってとても大切な年になります。いよいよ新乳児院の建築着工になります。東京オリンピックの影響を受けて少し予定は遅れますが、2020 年の秋頃には完成してご披露できる予定です。本当に楽しみです。

日頃よりボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になっております。子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、皆様方のおかげと感謝しております。今後とも、よろしくお願いいたします。

理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。
(「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に手を差し伸べることです)

基 本 方 針

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てます。
3. 感動や成功体験を通し、自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。

【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】 当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。詳しくは下記までご連絡ください。TEL 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理

【建て替え寄付金について】 当院では建て替えに伴い寄付金を募っています。ご協力お願いします。詳しくは下記までご連絡ください。TEL 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理



遠

足



さわやかな秋晴れの中、マザー牧場へ行ってきました。初めて見る動物達に子どもたちがどのような反応を示すのか、私自身もワクワクドキドキしていました。いざ動物を目の前にすると、泣き出しそうな子、興味津々に近づいていく子と反応は様々。怖がっていた子も気にはなるのでしょう。動物をじーっと見つめています。動物はそっちのけで落ち葉や花を集めている子もいました。

普段とは違った子ども達の一面が見られ、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

保育士 進藤 美智子



クリスマス会



たくさんの方にご参加いただきクリスマス会を開催しました。サンタさんが登場するとビックリしている子や「サンタさんだ!」と声をあげ喜んでいる子がいましたが、プレゼントを貰うと一様に「何が入っているのかな〜」とドキドキしながら袋を開け、中を見ていました。そんな姿を見て私も幼少期のクリスマス思い出し、ワクワクドキドキと一緒に味わわせてもらいました。初めは慣れない雰囲気緊張していた子も、ダンスやゲーム、サンタさんの登場で笑顔が見られるようになりました。とても楽しい時間で、あっという間に過ぎてしまいましたが、少しでも子どもたちの思い出に残ってくれたら嬉しいです。ご協力いただいた皆様、有難うございました。

保育士 越川 むつみ



12月20日に、病院13階ラウンジにて、クリスマス会を開催しました。子ども達は、ワンピースやネクタイなどでおめかしをして、会に参加しました。ミッキーマウス体操やボランティアさんの出し物では、身体を動かして遊び、笑い声と沢山の笑顔が見られました。鈴の音とともに登場したサンタさんには歓声をあげ子ども達は大喜び。プレゼントを貰い、風船で出来たアンパンマンと記念撮影をしました。たくさんのボランティアの方々のご協力もあり、子ども達に素敵なクリスマスの思い出が出来たことを感謝いたします。

保育士 菅野 幸





冬 レシピ



りんごのコンポート

欧米では「1日1個のりんごは医者を選ばせる」ということわざがあるように、りんごには多くの栄養価が含まれています。おいしいりんごの見分け方は、色の良かついたものほど甘味が強く味も濃厚です。持ってみてずっしり重いものを選びましょう。りんごは品種によって味・香り・食感が異なります。今回のコンポートは、ふじを使用していますが、種類によって砂糖の量をお好みで調節してみてください。ふじは甘味が強い品種なので、他の品種は砂糖を多めにするとよいでしょう。

お子さんと一緒に型抜きをしながら、楽しいおやつの時間を過ごしてはいかがでしょうか。

管理栄養士 林 慶子



【材料】1人分：りんご 1/4個、砂糖 5g、レモン汁 小さじ 1/2、水 50g、ミントの葉（飾り用。なくても可）

【作り方】

- ①りんごを1cm幅に輪切りにする。
- ②皮と芯が入らないように好きな型で抜く。
- ③砂糖、レモン汁、水を鍋に入れ火にかけて、砂糖が溶けたらりんごを入れる。
- ④りんごが透き通るまで弱火で15分ほど煮てできあがり。



心理士だより♪

～豊かな経験とは～

秋晴れの1日、千葉県のマザー牧場へ遠足に行きました。

遠くに見える山、高い空、広がる芝生の丘。肌にあたる風、動物のにおい、葉や草が揺れる音。太陽が近くまぶしいこと、日なたの暖かさと日かげの肌寒さ、標高による気圧の違い。アイスの冷たさ。バスから見た光る海、大きな船、飛んでいる飛行機。自然は私たちの五感がフル活動するように働きかけてきます。日頃は電気の明るさや電子の音、車やビルの出ずにおい、東京のど真ん中、という空気に囲まれている生活。

自然だって都心と同じように、快不快両方を感じさせてくれます。不快の時は大人に慰めてもらい、快適は一緒に楽しむこと。遠足はそんな経験をも、させてくれました。こんなに小さいうちの経験は覚えているのかしら？という声も聞こえてきます。大人は記憶を思い出という糧にして生きていきますが、子どもは今この日、この時に大人と一緒に感動した思いを糧に、成長していくのでしょうか。

たくさんの大人たちから直接・間接、有形・無形の支援を受けて実現できた遠足です。これらの支援が子どもたちの心の育ちの土台となることは間違いありません。



心理士 柴田 薫



里親制度について



“里親制度”という言葉聞いた事がありますか？

近年、TV やニュースにおいて耳にする機会も多くなりました。当乳児院においても東京都の里親制度に基づき里親さんの元で生活させて頂くといった取り組みを行っています。

また、昨年 10 月より東京都の里親認定基準の改正も行われました。

里親制度にはいくつか種類がありますが、今回は実子を目的とせず一定期間お預かり頂く養育家庭（ホットファミリー）と実子扱いとなる特別養子縁組の基準の改正についてご紹介します。

大きく分けると以下の 4 点の改正が行われています。

1 年齢要件における上限等を撤廃

	改正前	改正後
養育家庭	25 歳以上 65 歳未満	→年齢制限なし
特別養子縁組	25 歳以上 50 歳未満	→原則 25 歳以上

2 配偶者がいない場合の要件の緩和【養育家庭のみ】

改正前→補助者が必要 ※20 歳以上の親族もしくは事実婚の同居者

改正後→補助者が原則必要

成人の親族もしくは親族以外の同居者も可 ※親族以外の同居者は同居状態の継続性・安全性を十分に考慮する。 特段の事情がある場合は、単身者も可

3 居住要件における家族構成に応じた広さ(m²)の明確化

改正前→居室が 2 室 10 畳以上、家族構成に応じた適切な広さ

改正後→家族の構成に応じた適切な環境※「住生活基本計画」の最低基準を満たすこと

4 経済要件における収入以外の確認の明確化

改正前→世帯収入が生活保護基準以上

改正後→経済的に困窮していない、かつ、世帯収入が生活保護基準以上



里親についてご興味のある方はぜひ、お気軽にお声掛けください。

里親支援専門相談員 勝倉 奈穂



【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子



【編集後記】

明けましておめでとうございます。

今年も子どもたちと元気いっぱい、楽しい思い出をたくさん作りたいです。本年もよろしくお願いします。 K . K

すくすく 第66号 2019 1. 31. 発行

発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子

山崎 友絵 小長谷 香利 武田 典子 進藤 美智子